出版ダイジェスト

臨時増刊

社団法人 出版梓会　出版ダイジェスト社　http://digest-pubnet
毎月3回（1日・11日・21日）発行　購読料 1ヵ年＝送料共1,575円（税込）　郵便振替 00190-3-95516
〒101-0052　東京都千代田区神田小川町3-28-13タウィネお茶の水805　電話03-3292-2323　FAX03-3292-2325

農と食、教育と暮らし
農文協の雑誌特集
定期購読のおすすめ　http://www.ruralnet.or.jp/

わが「DASH村」の願い

日本テレビ放送網(株)プロデューサー　今村　司

「すっかりハマッてしまった」

DASH村―日本テレビ系「ザ！鉄腕！DASH!!」という番組で、TOKIOというアイドルグループが自分たちでつくっている〝村〟です。山の中の、三〇年間放置された土地にクワを入れ、鍬に手を入れて「村役場」にし、DASH村はスタートしました。

放映は二〇〇〇年六月からですが、企画した当初は、「アイドルに農業をやらせてなにがおもしろい」から「番組を潰す気か」まで、いろんな声がありました。なにせ、日曜日夜のゴールデンタイムの放映です。僕自身、たいした自信もなく、始めは細々とスタートしたのですが、それが大誤算になりました。一番の誤算は、これほどまでに視聴者に受け入れられたことですが、TOKIOのメンバーもスタッフもすっかりハマッてしまったのもうれしい誤算でした。

はじめはブーブー言ってたTOKIOも、今では、自分達がつくった野菜を持って帰り、親や友人にも配ったりしています。タレントの仕事は〝形〟が見えにくいのですが、DASH村では、自分たちの作業がどんどん形になっていく。もちろん失敗もあるし、自然相手ですから、今年のイモオ病のように、天候の影響も受けます。

村づくりを始めるに当たって、TOKIOとスタッフに、こんな約束をしました。「便利だと思われているものを捨て、人の知恵で自然と闘ってみよう」。そう、僕たちの最大の武器は失敗できることなのです。その過程で、結果として「農業の大切さ」や「農家の知恵」を感じてもらえたらと考えました。

TOKIOのメンバーは朝一番の新幹線で移動、九時ごろ現地に着いて、それから夜までほとんど働きづめです。彼らはタレントだから月に数回でかけますが、スタッフの連中は住民票を移して村に住み、今では、冠婚葬祭とか運動会とかの村の行事にも参加し、村の人に大変可愛がってもらっています。

DASH村の一番近くに暮らす三瓶明雄さんというおじいちゃんに、農業指導を受けていますが、TOKIOのメンバーもスタッフも、明雄さんや、さまざまに応援してくれる近所の高齢者の知恵を〝奇跡〟のように感じ、本当に尊敬しています。ある時、急に雨が降りだした時に、「バカヤロウ、カメラ撮っている場合じゃないだろう。作物がダメになる」と、明雄さんに叱られました。自然相手なので、なにが起きてもいいように、カメラはずっと回してありますが、明雄さんもTOKIOも、今では撮影されているという意識もなく、黙々と汗を流しています。

本当にみんな、よく働きます。達也君なんかは「お前はスジがいい。一流の大工になれるぞ」と、棟梁からほめられたりしています。二四時間衆人の目にさらされているTOKIOのメンバーにとって、DASH村は、作物や自然を感じ、自分の力を試し、自分と向き合う貴重な時間・空間になっているのだと思います。

「久しぶりに田舎の親に電話をかけた」

DASH村の知恵袋・三瓶明雄さん

幸い、番組に対して、子どもからお年寄りまで、男女の区別なく、たくさんの方から、励ましの便りやメールをいただいています。テレビではめずらしい現象で、日曜日の夜、家族みんなで食卓を囲みながら楽しめる番組を、と願っていた僕には、大変うれしいことです。

当初は、「気持が癒される」という便りが多くありました。昔ながらの農村風景に、ホッとする、という感じでしょうか。農業も田舎もイヤで都会にでてきたけれど、DASH村を見ているうちに、懐かしくなり、久しぶりに田舎の親に電話をかけた。田舎に帰りたいと思っている自分に気づき、自分でも驚いている…そんな中身の反響が多くありました。

そして最近では、第二の人生を田舎で、農業で、という人々が確実に増えているようです。都会を引き払う決心がついた、という人もいれば、「DASH村で働きたい」と、履歴書付きで申し込んでくる人もいます。ポジティブな意味で農業が生活になりつつあるという実感があります。

農家からの反響は、それほど多くありませんが、こんな励ましをくれる農家もいます。

「男米の収穫の放送を見ました。家でも毎年コシヒカリを作っていますが、今年ほど収量の悪い年は本当に久し振りです。おそらくTOKIOのメンバーをはじめDASH村の人々もショックだったのではないかと思います。一度今年のような事を経験しておくのも、これからの米作りに向けても勉強になると思います」（長野県・男性）

もちろん、僕らのやっていることは農家の方からみれば〝遊び〟です。遊びではありますが、最近では、「売ること」を通して、農業経営のきびしさを垣間見ることもあります。

炭をつくって売った時は驚きました。総出で窯をつくり、里山の木を切って、ナラ炭が二〇俵ほどできました。その値段が、俵一九〇〇円。四～五ヵ月かかって、TOKIOの太一君なんか炭入れのときに徹夜までして、この値段です。水を極力吸わせず苦労して育てた完熟トマトを築地市場に出荷したら、一個二五円。あまりに「安い」…。

品質や安全性の前に安さを求め、BSEや「無登録農薬」問題がおきれば、ヒステリックなほどに反応し、そしてすぐに忘れる…子どもたちには、そんな消費者になってほしくないという気持がますます強くなっています。あるお母さんから「DASH村の米づくりを見て、「五歳の子がごはんを一粒も残さなくなりました」という、メールをいただきました。そうすべきだといわなくても、農業や食べものの価値を自ら感じてくれる子どもが、一人でも二人でも増えてくれたら、番組をやっている甲斐があります。

「全国の明雄さん」からもヒントをもらって

DASH村には、「現代農業」や農文協の本など、農業の本がたくさん並べられています。スタッフの連中はよく勉強します。明雄さんにいろいろ教わっても、教わったことを咀嚼し、納得して作業をするには、それなりの「理屈」が必要です。イネの苗を足で踏みつけると田が丈夫に育ちます。なぜだろう…イネの体内では何が起きているのだろう。そんな疑問を解き明かしていくことも、僕たちの楽しい仕事であり、そのことが番組の表現にも厚みをつけます。また、「現代農業」に登場する「全国の明雄さん」の工夫からもいろんな着想やヒントをもらっています。

DASH村が、農家・農村と都市とを結ぶ一つの架け橋になればと願っています。

テレビでの農業の扱いは、昔から暗い話題になりがちです。豊作の時は、米が余るとか、安値でキャベツをトラクターで潰す光景がニュースに流れ、冷害や台風被害の報道もされます。もちろん、それはそれで大事ですが、農業の大変さ、つらさばかりでは、子どもが農業に関心をもつ機会が失なわれてしまいます。作物を育てる楽しさ、そこに培われた農家の観察眼や技、とれたものを生かしつくる豊かな食の世界、それを理屈でなく、視聴者と一緒に感じたい、それがDASH村の願いです。

今村　司（いまむら　つかさ）

1960年、神奈川県生まれ。東京大学文学部卒業後、日本テレビ入社。スポーツ局を経て、現在編成局プロデューサー。「僕は、三浦半島の半農半漁の村で生まれ育ちました。子どものころ、農家や漁師さんが凄くカッコよかった。あのような逞しい男になりたいとずっと憧れを持っていました。『DASH村』をつくる過程で大切にしている『第一次産業への敬意』や『お年寄りへの尊敬』などは、僕の原体験がベースになっているのかもしれません。」

「ザ！鉄腕！DASH!!」が第18回農業ジャーナリスト賞を受賞
農業、林業などを生活のレベルでじっくり描き、アイドルグループTOKIOの泥まみれ、汗まみれの姿が農業の普及・認知に広く寄与した。

趣味の焼酎つくり　手作りの蒸留装置で蔵元も裏方。麹菌で米、芋中心に醪まで仕込み。ドブロク仕込みから蒸留まで指南。　著 千徳義太郎著　●1050円

誰でも打てる十割そば　大久保裕弘著　昭和社　●1100円

趣味の酒つくり　笹野好太郎著　西迫の会　●1230円

四季の　秋冬編　田舎料理　船永モモ江著　季節の素材を自在にあしらう和洋料理。キノコ・木の実・根菜・ワバ料理など体温まる110余種の作り方。　●1600円

農文協　東京都港区赤坂7-6-1（価格税込）　☎03(3585)1141/FAX03(3585)1387　http://www.ruralnet.or.jp/shop/

日貿出版社　電話(03)3295-8411代表　Fax(03)3295-8416

季刊 水墨画 106号 特集 京を描く　町並、寺社、流れ、路地、庭園、祭礼、市場、名園、舞妓は円山定家の12人作。1500円

いきいき水彩画2　特集 京都を描こう　祇園の秋の旅スケッチ、長崎・北九州・五島線や東京台場風景など。1800円

安井茂代子著●透明水彩で描くボタニカルアート　野の草花の植物画　自然に接し、自分の方法で、豊富な作例。2300円

透明水彩で原風景を描く　笹川亀三著　「心の目が立ち止まる情景」。2800円

ステンドグラスの天使たち　吉田義人著　「愛と美、祈い…、フランス教会の原点」。1400円

〈価格は税別・送料各380円〉　〒101-0061 東京千代田区猿楽町1-2-2　http://www.nichibou.co.jp/

民家再生の魅力　全国・事例選集　特定非営利活動法人日本民家再生リサイクル協会・編　「民家に暮らしたい」「暮らし続けたい」と考えている人たちへ。住まいは、すべて個性的で、暮らす人自らが創るものです。特に民家再生は、設計・施工者任せではうまくいきません。さまざまな再生方法があることを学ぶことが大切です。本書はそのきっかけとなるよう配慮して編集されました。　A4判・一七二頁・定価（本体一五〇〇円＋税）

よみがえる民家　―私の民家改修日誌―　古民家に快適な暮らしを賦与した女性建築家の家造りの記録・安らぎをはぐくむ家　中藤寿紀子著・A5判　定価（本体一八〇〇円＋税）

東京中央区銀座2-11-6 相模書房 TEL(03)3542-0660

オシャレな作例を満載！　一字で年賀状　石飛博光著　「趣味悠々」でおなじみの著者が年賀状作りのコツとアイデアを伝授しポイントも解説。十二支を含む一字の吉語を筆書き文字でまとめた年賀状90点を収録。　A5判・カラー96頁●1000円

心を癒す安らぎの一冊　ほっとする禅語70　遠書正純監修／石飛博光書　70の禅語を元に、楽に生きるための知恵を説く。不安に満ちた現代に、誰もが求めていた一冊。　B6判変型・160頁●1000円

二玄社　東京都文京区本駒込6-2-1（価格税別）　Tel.03-5395-0511 http://nigensha.co.jp

04年冬版　今ほど「クルマを知る」ことが重要な時はない！　間違いだらけのクルマ選び　徳大寺有恒　●1400円　駐車や危険回避を手伝うクルマなど、覚えべき最技術を掲載したニューカーが続々登場。今こそ、クルマ選びの眼力が必要だ！

（今期登場のニューカー）　プリウス／アベンシス／レガシィ／インスパイア／キューブ・キュービック／オデッセイ／アウディA3／BMW5シリーズ……など

草思社　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-33-8　☎03(3470)6565　価格は税別　http://www.soshisha.com/